

◆帝人グループ

事業内容	化学繊維等の製造業
所在地	帝人株式会社本社:大阪市、東京都 グループ企業:国内 82 社、海外 74 社
従業員数	帝人グループ全体で 19,053 人 (2007 年 3 月現在)
主な制度・ 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 育休の最初の 2 日間は有給。子の出生休暇（父母とも）3 日とあわせ 1 週間が有給（適用企業の社員数は国内約 6,000 人）。 ▶ バックアップ休暇（失効した年次有給休暇を最大 50 日まで積み立てられ、有効な年次有給休暇が残り 25 日以下になると、特定の目的で利用できるもの）が、育児と不妊治療の目的で利用可能（適用企業の社員数は国内約 6,000 人）。 ▶ 47 歳以上（総合職）、または 50 代以上（管理職）の者は、退職前の 3 年間、会社指定のボランティア団体（各ボランティア協会組織の加盟団体等）へのフルタイム参加が認められ、勤務しなくても給与の 85%が支給される。ただし会社勤務への復帰は不可。退職後の地域での生活に備えるための制度（適用企業の社員数は国内の約 7,500 人）。 ▶ 10:00～15:00 をコアタイムに 7 時間 30 分（または 7 時間 45 分）勤務のフレックスタイム制度。 ▶ 経済的支援として、ベビーシッター企業 3 社（ピジョン、ポピンズサービス、マザーネット）と法人契約。ベビーシッターや保育施設が入会金不要、割引料金（ベビーシッターの場合）で利用可能。 ▶ 「ダイバーシティフォーラム」（旧称「女性活躍フォーラム」）を開催、ワーク・ライフ・バランスの意義などを議論。
マネジメント について	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ワーク・ライフ・バランス取組の目的は、持続可能な働き方の追求。社員を大事にすることは、仕事のクオリティやモチベーション向上に直結し、ひいては長期にわたる円滑な企業経営を可能にするという考え方がベース。クオリティ・オブ・ライフの向上に努め、そのために社会との親和性・社員の重視などを配慮。 ▶ また、国際的に通用する企業となるには女性の活躍が不可欠と考える。 ▶ CEO が女性活用を含むダイバーシティ推進で熱心に活動。CHO（人事最高責任者）が適正な労働時間管理・男性育休推進などで声明を発出、また CHO を長とする「帝人グループ・ダイバーシティ委員会」を設置。 ▶ 時間外労働削減のため、全職場におけるワーク・ライフ・バランス、業務効率向上に係る報告書の提出、時間外労働の事前申請制などを導入。
コスト・メリッ トについて	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 企業イメージ向上の効果あり。新聞・雑誌の（女性の）働きやすい企業ランキングでは上位（13 位（日経新聞）、8 位（日経ウーマン）、2006 年）に位置。 ▶ IR 効果として、証券会社等からの SRI の調査を受けている。ファミリーフレンドリーファンド（グッドバンカー）、その他女性力ファンドに組み入れられている。